

## 「第3回サスティナブルーカップ」開催報告

2024年2月10日(土) 一般社団法人 神奈川県ラグビーフットボール協会主催「第3回サスティナブルーカップ」が開催されました。

各企業・団体様ご協賛のお陰様をもちまして、開催できましたこと心より感謝申し上げます。

また助成いただいております公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会スクラム・ジャパン・プログラム公式ホームページにも活動レポートを掲載いただいておりますので、併せてご案内申し上げます。

[公式 - スクラム・ジャパン・プログラム | JRFU \(scrumsjapanprogram.jp\)](https://www.jrfu.jp/scrumsjapanprogram)

### ～ 大会レポート ～

#### ◇スキルクリニック／ラグール体験会

絶好のラグビー日和の快晴の中、神奈川県立スポーツセンターに30名の小学校6年生と中学校と24名の高校生ラグールが集結しました

午前中は、YOKOHAMA TKM、湘南ベルマーレ bell7 のコーチ・選手によるクリニックと「はじめてのガールズラグビー体験会」を開催

体験会には7名の子供たちが参加し、ラグビーに関連する身体の使い方を施したウォーミングアップとラグビーを楽しんでいました



### ◇神奈川県内高校3校がポジション別に2チームに別れエキシビジョンマッチ

普段一緒のチームでプレーすることがないメンバーでの試合ですが、自然と声のでて迫力あるプレーに小中学生は魅了され夢中で観戦



### ◇第3回サスティナブルカップ キックオフ！！

県内スクール所属選手の小学校6年生と中学校1年生を東西に別け試合開始  
第3回は 65-0 で東チームの勝利でした



## KANAGAWA WOMEN'S PathWay

### ◇女性レフリー

エキシビジョンマッチ・サスティナブルカップともに女性レフリー2名にご活躍いただきました

森町 瑞季レフリー



加藤 愛萌レフリー



◇卒業を控えた中学校3年生ラグビー10名がボールパーソンで試合をサポート

そして会場マイクからは、高校生による解説、アナウンスまで聞こえてくるラグビーらしいアットホームな雰囲気の大会となりました。



## ～ ご挨拶 ～

### (一社)神奈川県ラグビーフットボール協会執行役員 普及育成委員長 丸本 良之

ご協賛・ご協力を頂きました皆さまのおかげで、本年も成功裏に大会の開催することができましたこと心より御礼申し上げます。

県内小・中学生公式戦「サスティナブルカップ」は、近年の女子ラグビーの流れに沿い、極めてレベルの高い大会となり、日頃よりご指導を頂く所属チームの皆さまにも重ねて御礼申し上げる次第です。

また、本年の新たな取組として大会前にイベントを実施、ラグビー未経験者やラグビーのみ経験のある女子小中学生の参加を募り「体験会」を開催、県内女子トップ選手との“はじめての女子ラグビー”を楽しんで頂くことができました。こうした皆さまから頂きました貴重な機会を通じ、女子ラグビーの競技人口の拡大が図れるよう今後も担当部門一同一層の取組を進める所存です。

引き続き、次回大会にも厚いご支援をお願い申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

### (一社)神奈川県ラグビーフットボール協会 普及育成委員会女子部会長 青木 泰一郎

今年も良い天気にも恵まれて、参加された神奈川の女子選手たちはとても楽しめた様子でした。

今回のサスティナブルカップは一般の方の体験会も実施し、かなり盛り山な内容のイベントになりましたが、実行委員のメンバーを始め、神奈川の女子選手普及育成に携わる関係者の方々の支援のおかげで、滞りなく開催することができたことが神奈川の大変すばらしいところかと思えます。

女子選手普及のポイントは「道」を作ることです。

あるカテゴリーだけ力を入れても、そこで止まってしまうのでは意味がありません。

小学生でラグビーを始めた選手のために、中学生になっても続けることが当たり前になるような環境を作り、中学を卒業しても神奈川の高校で続けていけることを見えるようにし、そしてその先も続けている先輩達がいることを伝えることが重要であります。

サスティナブルカップはそれを具現化した大会です。

サスティナブルカップに出場する選手がいない・・・我々としてはこのようなことが決して起こらないように、今後も選手を辞めさせない、そして増やす活動を続けていきたいと思えます。

今年作った記念品のナップザックには神奈川にあるラグビーチームのロゴが入りました。リーグワンのチーム、女子のクラブチーム、高校のラグビー部。

それを見た時に、神奈川にはこれだけ素晴らしいラグビーの土壌があることを改めて感じました。

また多くの人たちと一緒に第4回に向けてスタートします。

### (一社)神奈川県ラグビーフットボール協会 普及育成委員会神奈川女子監督 水島 輝彦

神奈川県女子活動へのご理解とご協賛をいただき誠にありがとうございます。

小学6年生と中学1年生が合同チームで同じグラウンドに立って試合をすることは、中学生になってもラグビーを続ける良い機会になっています。

また、高校生のレベルの高いプレーを間近に見ることができたり、トップクラブの選手と触れ合える貴重な経験ができるのもこの大会の良さであると感じています。

ジュニアカテゴリでは、将来の活躍に繋がられるよう基本プレーの徹底や個人スキルの向上に取り組んでいるところであります。

女子選手の活動への引き続きのご支援をいただけますと幸甚でございます。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

### 三菱重工相模原ダイナボアーズ所属 クラーク記念国際高等学校女子ラグビー部ヘッドコーチ 井口 剛志

皆様のご協力により、開催できましたサスティナブルカップですが、今年も素晴らしいイベントとなりました。

イベント中は、終始笑顔の絶えない温かい雰囲気に含まれておりました。

選手である社会人や高校生が、小中学生とトレーニングする機会は、子どもたちが将来ラグビーを続けることができる明るいイメージになったと思います。

これからも神奈川女子ラグビーが発展していく事を願っております。

### 第3回サスティナブルカップ実行委員長

#### YOKOHAMA TKM 鈴木 美緒 湘南ベルマーレ bell7 表 麻衣子

本大会は、進学タイミングでラグビーから離れてしまう小学生選手を減らすべく、神奈川県内のスクールでプレーする小中学生を集めて交流を深めることや、高校、大学、社会人でプレーしている選手と交流することで、自身のロールモデルを見つけるきっかけとなる場をすることを目的として創設されました。

多くの皆さまに支えられ、今年度で無事第3回目を開催することができました。

昨年度に引き続き、小学校6年生と中学校1年生混合のチームを東西に分け試合を実施。

試合前には、高校生のエキシビジョンマッチや県内の社会人チームである YOKOHAMA TKM と湘南ベルマーレ Bell7 のメンバーによるキックとブレイクダウンでのスキルセッションが行われました。

今回はクリニックと同時に、ラグビー未経験者に向けた体験会も実施され、参加者の中から「ラグビーを始めたい！」という声も聞こえ、ラグビーを楽しみ、新たなことを始めたいと思うきっかけを作ることができたことを嬉しく思いました。

小中学生混合の東西対抗戦では、試合前のウォーミングアップを社会人チームと高校生が行い試合に臨みました。楽しそうにプレーをしているのがすごく印象的で、試合前に行ったセッションをいかしながらキックにチャレンジしている姿や、ブレイクダウンでの良い姿勢も見られました。ペナルティも少なく、昨年度と比較しレベルアップしている姿に本当に驚かされました。

この試合レフリーについても、県内の女子レフリーが担当し、プレイヤー以外での携わり方を知るきっかけにもなったのではないかと感じました。

スポーツにおいて、地域・年齢を問わずその競技を楽しみ、継続することができる環境を作っていくことが非常に重要なことだと考えています。これからもこの大会が、県内の女子ラグビー選手たちを繋ぐ場として継続していく必要があると改めて感じました。そして、より意味のあるものとして発展するよう努めてまいります。

本大会にご支援いただきました、協賛団体の皆さまをはじめ、県内女子ラグビーチームの皆さま、運営スタッフのすべての皆さまに御礼申し上げます。

以上

皆様のあたたかいご支援・ご声援ありがとうございました。

第4回大会は、2025年2月11日(祝・火)に開催を予定しております。

引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。